

原点回帰で未来を見据えて



明日を想う
健祥会グループ

健祥会だより 2023

KENSHOKAI DAYORI vol.48



「こころ」×「digital」

私たちの原点 × テクノロジー = 新しい介護





健祥会グループ 理事長 中村 太一

「こころ」×「digital」を実践して

**取り戻しつつある
日常、社会の安心の
砦となつて**

世界がコロナ禍に遭遇し、早や3年が過ぎました。健祥会グループでは利用者様やご家族にご理解・ご協力をいただきながら、制約の中だからこそ、日々の暮らしに楽しかった、おいしかったという喜びを見出し、いただけるよう努めてまいっております。

コロナ禍は今なお収束をみるには至っていませんが、社会は対コロナの知見を積み、「ミソコロナ」へと舵を切り始めました。当グループでも休止していたゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会を3年ぶりに開催するなど、日常が少しずつ戻りつつあります。全国社会人ゲートボール大会では、健祥会グループのチームが通算11回目の優勝を飾った上、表彰台を独占するという嬉しいニュースもありました。

一方で30年ぶりの円安に加え、食料品から石油まであらゆるものの価格高騰が

暮らしと経済を直撃しています。厳しい状況であるからこそ社会福祉という砦をしっかり守らねばとの想いをますます強くしています。

二つの新施設、 利用者様のための テクノロジー

昨年12月徳島県板野郡上板町にグループホーム「健祥会こころ」を開所しました。

隣接する老人保健施設「健祥会ハート」とともに、地域包括ケアの一翼を担います。本年4月には同じく板野郡北島町に小規模多機能ホーム「健祥会ハーグ」がオープンし、北島町の皆様の多様なニーズにお応えしてまいることとなります。

両施設ともハードに心を込め、時代の流れを見越して設備機器を手厚く整備。業務の効率化と情報共有を図るCOシステムを導入するとともに、最新の見守りシステムを健祥会こころでは全室に、健祥会ハーグには泊まりの3室に導入し、デジタル化にも万全を尽くしました。

コロナ禍を契機に、介護・医療、教育・保育の世界でも目覚ましい勢いでデジタル化が進んでいます。大切なのはデジタル化そのものではなく、デジタルがもたらすエビデンスや利便性を駆使してよりよいサービスをつくっていくこと。どんなにテクノロジーが進化しようと、それが利用者様の望むことなのかどうかをしっかりと見極め、常にニーズに寄り添いながら、人にか担えない部分を大切に守っていく必要があります。コロナで直接の面会が思うに任せず、利用者様にもご家族にもつらい思いを強めてきた3年間でしたが、その分施設ではブログでの発信を充実させ、見える化に取り組んできました。グループのホームページの施設ブログコーナーで心温まる日常がご覧いただけます。

施設内にご家族の目が届かない分、業務に緩みや甘さがないかを職員一人ひとりが常に自省し引き締めてまいっております。

全職員の頑張りにより、二度のベースアップ

私たちのサービスにとって大事なものはなんといっても「人」「職員」です。人材にとって働きがいのある職場であるよう、職場環境をよりよくする努力を続けており、健康経営、ワークライフバランス、子育て支援など、様々な分野で取り組みが実を結んでいます。また若手職員からなる「SIRARI WOMAN ネットワーク」は誕生から7年目を迎え、年々活動の幅が広がっています。昨年はヤングケアラーサポートやフードドライブなど、社会的に意義のある活動に取り組んでおり、人材のよき育ちの場となっていることを嬉しく思っています。

昨年、コロナ禍での職員の労に報いるとともに物価高騰にも配慮し、正規非正規の別なく全職員へのベースアップを二度にわたって実施しました。コロナ禍で事業収入は減ですが、幸い、スケールメリットと経営努力により体力を温存してき

ましたから、自主財源からの拠出により断行しました。また、ハードの更新期を迎える施設については順次大規模修繕に着手し、並行して積極的に「IT」化を図っていく計画です。

原点に立ち、不変の行動指針を掲げて

私たちの原点は44年前に掲げた会是「福祉は人人は心」「心と心」です。デジタル化が進み様々なことが変わりゆく中で、職員には福祉職である前に人としての原点、あるべき姿に今一度立ち還って欲しいとの想いを強くし、一昨年来「原点復帰」を掲げ、繰り返し訴えています。ことに昨年は周年を迎える施設が多く、創設の想いを噛み締める機会に恵まれました。テクノロジーがいかに進化しようとも、Vには代えられない「こころ」の為す領域こそが私たちの真価であり、そして誇りです。

不安要因の多い今、未来は予測不能ですが、何がどう変わろうと利用者様と地

不変の行動指針のもと

域社会に安心安全を、園児と学生に豊かな育ちと学びを届けることが使命。そして法人として職員に働く喜びと働きがいをお届けすることが責務です。

令和五年、「サービスの質の追求」「職場での共創」「地域社会への貢献」という不変の行動指針を、三度、年訓として掲げスタートし

ました。まだまだコロナ禍は収束しそうにありませんが、決してコロナを言い訳にすることなく、グループ3000人の職員が同じ未来を見ながら、人としてのあたたかな「こころ」と先進のデジタル技術との融合を図り、地域に希望と安心を紡いでまいります。

令和五年訓

- 一、今、自分が利用者ニーズに
応えられているか
- 一、今、自分が上司・部下・同僚に
応えられているか
- 一、今、自分が地域社会に
応えられているか

明日を想う
健祥会グループ

01

TOPIC /

4月 2,000円、10月 7,000円 半年に二度! 嬉しい大幅ベースアップ!

ベースアップを励みに、エッセンシャルワーカーとして自らの仕事に誇りを持ち、これまで以上にしっかりと目の前の利用者様に向き合い、心のこもったサービスをお届けしてまいりたいと思います。



終わりの見えない新型コロナウイルス感染症、混沌とした世界情勢と日本経済の行方など、私たちを取り巻く環境は決して穏やかなものではありませんが、この

長引く新型コロナウイルス感染症対応への労いの気持ち、そして今後も頑張りたいという願い、さらに、物価高騰による家計への影響など、すべてを考慮し、2022年、二度のベースアップが実施されました。4月に2,000円、そして10月には、正規非正規すべての職員（4月に7,000円ベースアップしたドリームステージ/4認定こども園を除く）に月額7,000円が、パート職員についてもベースアップ分を時給換算し、4月との合計50円のアップが実施されました。国からの支援金や補助金は十分ではないことから、グループ自主財源よりの抛出。コロナ禍で事業収入そのものは減収となっている中で、法人としての大きな決断です。



地域とともに時を重ねて 感謝で迎える開所記念日

2022年、6つの施設で節目の開所記念日を迎えました。コロナの蔓延状況に鑑み、規模を縮小して記念式典を開催。開所時を知らない若い職員も、ともに歴史をたどり、利用者様や地域の皆様への感謝を新たにしました。

30th

老人保健施設「健祥会ヘルス」(徳島県美馬市穴吹町)
ケアハウス「健祥会リブレ」「健祥会デイサービスセンター塩江」(香川県高松市塩江町)

20th

特別養護老人ホーム「健祥会家康」(徳島県美馬市脇町)

10th

「とくしま健祥会認定こども園」(徳島県徳島市八万町)
介護老人福祉施設「ふるさと那賀」(徳島県那賀郡那賀町)
介護老人保健施設「マリアンヌ」(京都市京都市右京区)

CONTENTS

健祥会だより 2023 vol.48



- 2 不変の行動指針のもと「こころ」×「digital」を实践して
健祥会グループ 理事長 中村 太一
- 4 2022 KENSHOKAI TOPICS
- 6 人こそ財! ~2022 採用レポート~
- 7 外国人材は「大切な仲間」そして「なくてはならない頼もしい戦力」
- 8 仕事のやりがい・家庭のしあわせ・健康のよろこび働く人が輝いてこそ!
- 10 今年も確かな成果を得てサービス力向上に大きな手応え
- 12 つながり合い支え合い、施設はいつも地域とともに
2022 地域活動報告
- 14 KIRARI WOMANネットワーク ~2022 活動レポート~



開園10周年の節目に嬉しい受賞！ とくしま健祥会認定こども園 第1回 徳島県幼児教育功労表彰 優秀賞

ソフト・ハード両面において健やかな発達のための独自性あふれる取り組みを実践しているとして、とくしま健祥会認定こども園が第1回の優秀賞を受賞しました。特に「園内に茶室を設け、日常のプログラムの中に茶道を盛り込み、日本の伝統文化に触れ親しむ教育を行っていること。アート教室などの文化教育を熱心実践し、子どもの創造性や社会性、生きる力の育成に貢献していること」が大きく評価されている受賞です。

健祥会グループの認定こども園は40数年前の保育園としてのスタート時から、「幼稚園に負けない教育・保育」を掲げ、徳育・体育・知育、礼儀と感謝を大切にする教育を実践してきました。



表彰状授与式 / (中) 常務理事 中村晃子(右)ととくしま健祥会認定こども園 園長 田中育美

中でもとくしま健祥会認定こども園は、グループ創始者中村博彦が教育・保育の実践の集大成として心血を注いで構想したもの。いのちの息づく里山、のびのびと走り回る広い園庭、整った設備の園舎で、二宮金次郎の「孝・勤勉・学問」の心と礼儀と感謝を大切に、受賞理由としてあげていただいた茶室での茶道教室、徳島県立近代美術館と連携してのアート教室、さらに英語・体操・サイエンスなどの特別教室を提供し、ハードにも教育内容にも高い評価をいただいています。開園10周年の節目の嬉しい受賞です。

北島町初の小規模多機能ホーム「健祥会ハーグ」 起工式

●9/28(水)

徳島でいちばん元気な町・北島町で、地域密着型特別養護老人ホーム「健祥会ライデン」とサービス付高齢者住宅「健祥会デルフト」に隣接して小規模多機能ホーム「健祥会ハーグ」を開設することとなり、起工式を行いました。

「通い・泊まり・訪問」の3つのサービスで地域の多様なニーズにお応えし、北島町の皆様に「健祥会ハーグ」が北島にできてよかったと思っただけでなく、自分や自分の家族が利用したい施設であるかを常に自らに問いながら施設づくりをしてまいります。業務の効率化と情報共有を図る「C」システムを導入し、2023年4月1日開所予定です。



完成イメージ図



グループホーム「健祥会こころ」 上板町にオープン

●12/1(木)

上板町の老人保健施設「健祥会ハート」に隣接してグループホーム「健祥会こころ」が開所しました。健祥会グループが職員寮以外で新たな施設を開設するのは2018年2月のグループホーム「元気」以来、4年ぶりのことです。

「健祥会こころ」では、18の個室全室に介護ロボット(見守りセンサー)を完備、自立サポート浴槽など最新の機器も導入し、利用者様にも介護者にも大きな安心をお届けします。

「健祥会ハート」に併設する通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション・居宅介護支援の事業にグループホームが加わることで、上板町により強固な地域包括ケアシステムの拠点ができました。今後、認知症カフェや認知症サポート・養成講座など認知症予防・介護について地域の皆様への啓発にもさらに力を入れ、今まで以上に地域のお役に立てますよう努めてまいります。



— 多様な個性がそれぞれの能力を発揮できますように — 人こそ財!

2022採用レポート



輝く瞳の30名を仲間に迎えて

4/1(金) ~ 令和4年度入職式 ~

令和4年度、健祥会グループに30名の新入職員を迎えました。入職式、29名は健祥会グループ本部の健祥会トウモロホールで、1名は京都からのリモート参加で。本人にとってもグループにとっても大事な節目の行事に、誰もが清々しい気持ちで臨みました。

競い合い高め合い、
果敢なチャレンジを!

健祥会グループ
理事長 中村太一 訓辞

コロナ禍によりエッセンシャルワーカーの仕事の意義が評価され、その分、私たちに注がれる世間の目は厳しくなっています。安心安全・高品質のサービスは当たり前、選んでいただける施設であるためには、さらにその先に、より信頼していただける施設づくりをめざさなければなりません。40年前、四国で初めてデイサービス事業をスタートさせて以来、常に時



代に先駆けてきたように、進化と挑戦を続け、怠ることなく組織改革を実践していくために、新しい感覚と発想が必要です。皆さん方には、固定概念を打ち砕き、組織に新しい風を送り込むんだという心構えで臨んでくださることを切に期待します。

訓辞を受け、新入職員代表が「今の気持ちを私たちの原点とし、健祥会グループの原点の心に重ねながら、それぞれの専門性を活かし高め、利用者様のニーズに寄り添える職員になります」と決意を述べました。

コロナ禍の中で、健祥会グループもひとつの転機を迎えています。私たちの存在意義を問い直しながら、新しい組織づくりに向かって、若い仲間とともに令和4年度がスタートしました。

介護の日に記すはじまりの一步

令和5年度 職員採用内定式 11/11(金)

11月11日は「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」の介護の日。福祉人としての第一歩を記すにふさわしい日として、健祥会グループでは、毎年この日に次年度採用者の内定式を行います。グループの未来とともに担う新しい仲間28名を迎えて令和5年度内定式が行われました。

やさしくて安心の
未来をともに!

健祥会グループ
常務理事 中村晃子 挨拶

私たちは今、グループの原点である「こころ」と進化する「Digital」の融合を大きく掲げています。見据えているのは、介護の世界にも大きな変革をもたらしているデジタルをツールとして上手に使いこなしながら、 Δ がとって代わることでできない、人にしかできないこころのサービスを大切に守り続ける、そんな未来です。健祥会グループでは、今年度二度にわたって給与アップを行いました。「頑張りには報われる」組織であることを、仕事への熱意と未来への希望の源にしてください。利用者様にとっても介護者にとっても、やさしくて安心の未来をつくってまいります。



来春迎える予定の28名、彼らの若い力に期待し、地域社会の安心のためにともに邁進。コロナの未来を拓いてまいります。



Global human resources

外国人財は「大切な仲間」 そして「なくてはならない頼もしい戦力」

- 2月/EPA介護福祉士候補者
インドネシア人 25名
フィリピン人 19名
- 5月/技能実習生
インドネシア人 10名
- 7月/技能実習生
ベトナム人 13名
- 8月/技能実習生
ベトナム人 10名
- 12月/EPA介護福祉士候補者
インドネシア人 29名

待ちに待った入国
106名の外国人財
健祥会グループへ

新型コロナウイルス感染症対策のために入国スケジュールが遅れていた外国人財が、制限の緩和などにより順次入国し、2022年中に合計106名が健祥会グループの一員となりました。就労前研修のうちにそれぞれの配属施設で元気に就労開始しています。慣れない土地での就労と勉強の両立は大変ですが、皆様に喜んでいただける人材になれますよう、グループをあげてサポートしてまいります。



入寮式(職員寮・健祥会ステーション塩江II)



Philippines

コロナ禍でその価値が強く認識されたエッセンシャルワーカーですが、高齢化のピークに向かってますます需要は高まっており、人材確保が大きな課題です。健祥会グループではキャリアアップの仕組みを整え、かつ2022年度には二度のベースアップを実施するなど、人材に働きがいと働く喜びのある環境づくりに努めています。そのひとつが職員寮の整備。地元での人材確保が難しい中山間部の施設では、地元人財や特定技能など、外国人財の力に

3つの職員寮を新設
大切な人財のため
新しい寮で仕事に勉強に張り切って！

負うところが大きいことから、順次建設をすすめており、2022年度には3棟が完成。2023年にも阿南市那賀川町と三好郡東みよし町に建築予定です。快適な住環境の中、仕事も勉強も頑張る職員を応援するべく、地域の一員として地域に早くとけ込めますよう、しっかりとサポートしてまいります。地域の皆様、どうぞよろしくお願いたします。



健祥会ステーション塩江II / 3月1日
老人保健施設 健祥会バーデン
(香川県高松市塩江町)



緑風会ドミトリー / 8月23日
介護老人福祉施設 ふるさと那賀
(徳島県那賀郡那賀町)



健祥会サミット / 8月25日
特別養護老人ホーム 健祥会清盛
養護老人ホーム 健祥会頼朝
(徳島県三好市東祖谷)

仕事のやりがい 家庭のしあわせ 健康のよろこび 働く人が輝いてこそ！

「人」(利用者様)に向き合う福祉の仕事は、「人」(職員)こそすべてです。性別も職種も国籍も家庭環境も様々な人財が、それぞれの能力を発揮しながら喜びをもって働けるよう、健康で意欲的に仕事に臨めるよう、「働きやすさ」とワークライフバランスの実現、健康経営の実践に努めており、様々な認証や表彰をいただいています。

1/26(水) 徳島労働局

女性働きやすい職場づくり
に取組む企業を厚生労働大臣が認定する「えるぼし」制度。社会福祉法人健祥会は2017年に最高位である三つ星に徳島県で初めて認定されていますが、社会福祉法人緑風会でも取組みをすすめ、同じく「三つ星認定」を受けられました。今後「えるぼし」認定マークにより、女性の活躍を推進している事業主であることをアピールすることができます。

健祥会に続き緑風会も！
女性が働きやすい職場として
「えるぼし」三つ星認定



伊藤浩之徳島労働局長より交付

健祥会の認定時には「三つ星」が最高位でしたが、現在はその上に「プラチナえるぼし」が定められており、今後は健祥会・緑風会ともに最高位をめざします。

3/9(水)

4法人揃って三度目「健康経営優良法人2022」に認定！

従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる優良な法人を顕彰する経済産業省の「健康経営優良法人認定制度」により、健祥会グループ4法人が、揃って三度目の「健康経営優良法人2022」の認定を受けました。
ヘルスサポート制度や安全に配慮した職場環境づくり、メンタルヘルスケアや腰痛
予防検診と体操の実践、介護者の負担軽減のためのロボット
の積極的な導入、職員の健康維持に向けた対策の実施、情報開示の促進や社会全体の健康への寄与など、28の評価項目すべてをクリアしての認定。
独自の組合健保を持つ大企業が居並ぶ大規模法人部門
2299法人の中に、名を連ねての栄誉です。

8/5(金)

今年も5法人揃って
「優良健康づくり事業所(金)」

働く人の健康を第一に考え、健康経営推進の取り組みを評価する全国健康保険協会(協会けんぽ)の「優良健康づくり事業所」認定において、グループ5法人が揃って「金」に認定されました。
パートも含む全職員の健康診断とストレスチェックの実施、健康指導や重症化の予防、禁煙対策、メンタルヘルス対策、運動推進、メタボ対策などに取り組み、積極的な健康経営を推進しています。



10/25(火) 徳島県庁

「とくしま子育て大賞」の「チーム育児応援大賞」に輝く！

「徳島県はぐくみ支援ポータルサイト・とくしまはぐくみネット」より、子どもたちが健やかに生まれ育つための取り組みを顕彰する「とくしま子育て大賞」の「チーム育児部門」で、「チーム育児応援大賞」をいただきました。

「チーム育児」とは、ひとりで抱え込まず、保護者の協働を中心に子育て支援サービスやツール、周囲の人を頼りながら、楽しみを感じられる育児を実現しようというもの。その趣旨に賛同し、在宅勤務やワーケーションの活用など、子育てしやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業・団体として顕彰されました。



飯泉嘉門徳島県知事より表彰

評価された取り組み例

- 子の1歳の誕生日や配偶者の出産時の特別有給休暇制度
 - ノー残業デーを導入し育児参加の時間確保を推奨
 - 1人あたり月1万円（上限3人）の「子育て応援手当」の支給
 - ライフステージに合わせた柔軟な雇用形態の導入
 - 子育て関連イベント（キッズフェスタやお仕事参観日など）の開催
- 「チーム育児」の取り組み内容がYouTube「とくしまはぐくみネットチャンネル」にアップロードされています。ぜひご覧ください。

■さあ、チーム育児を始めよう！ 健祥会グループ編
<https://www.youtube.com/watch?v=9CW4e48uEs&t=26s>

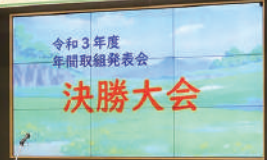
12/22(木) アスティとくしま

女性活躍のロールモデルとして登壇 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」地域シンポジウム

企業経営者や地方自治体のトップ約290名が参加し組織における女性活躍推進に取り組む「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の全国で順次開催する地域シンポジウムが内閣府主催・徳島県共催によりアスティとくしまで行われ、健祥会グループ常務理事中村晃子が徳島県知事飯泉嘉門氏らとともに女性活躍の現状とトップの役割について語り合いました。

中村常務理事は「健祥会グループの組織内には性別という障壁はない。創設時から「個」の能力ややる気を見て適材適所を実践してきたため、女性活躍のDNAが受け継がれ、企業風土をつくってきた。制度や仕組みを活かすためにベースとなるのは風土だし、それを培っていくのはトップの役割である」「女性に限らずすべての人材が輝くために、●多種多様なロールモデルが身近に存在していること ●女性や高齢者、外国人材の多い職場であるから





今年も確かな成果を得て サービス力向上に大きな手応え

4/26(火) **LIVE** 健祥会トウモロホールから全施設にライブ配信



「私たちの働き方☆再発見」 「年間取組発表会」 決勝大会開催

サービス力と利用者満足度の向上のために毎年行われる「年間取組発表会」。統一テーマの下、健祥会グループのすべての高齢者施設と身体障害者施設が1年間実践してきた取り組みの成果を報告し合い評価し合います。

ふるさと那賀 悲願の初優勝

令和3年度の統一テーマは「私たちの働き方☆再発見」。コロナが小康状態にあった4月、施設種別ごとの予選を勝ち抜いた8施設が健祥会トウモロホールでの決勝大会に臨みました。大会は、理事長中村太一、常務理事中村晃子、専門学校健祥会学園校長武田英二をはじめとする審査員の前での発表と、MIBO会議システムによる施設からの応援で構成し、その模様は全施設にライブ配信されました。

例年とは違った視点でのテーマ設定となった今年。三交替夜勤・二活用などにより業務改善が進み、利用者様へのサービスの質の向上につながるという内容や、ケアサポーターの働き方に着目した取り組みもありました。

8施設いずれも聞き応えのある発表で、回を重ねるごとに、内容そのものもプレゼンテーションも目覚ましく進化していて驚かされます。難しい審査でしたが、19人の審査員が熟慮の末、各3票を投じ、ふるさと那賀が6度目の決勝進出にして悲願の初優勝を果たしました。

「ふるさと那賀と共に forever and ever」 全職員の73%が50歳以上という現実を直視し、フレイル予防体操などで体力アップに取り組み、効果を上げている。また、サービス力向上のために、統一献立の盛り付けの標準を固り、職員自らが働き方改革を実践。職員満足こそが、めざす4つの満足(ES、CS、MS、SS)の核であるとの気づきに至った。



「ふるさと那賀と共に forever and ever」 全職員の73%が50歳以上という現実を直視し、フレイル予防体操などで体力アップに取り組み、効果を上げている。また、サービス力向上のために、統一献立の盛り付けの標準を固り、職員自らが働き方改革を実践。職員満足こそが、めざす4つの満足(ES、CS、MS、SS)の核であるとの気づきに至った。



理事長講評

「年間取組発表会」の目的・意義を体現した素晴らしい発表ばかりでした。コロナが猛威を振るう中、感染対策をとりながら取り組みを継続し、今日が迎えられたことを全施設全職員の自信と誇りにしてください。ここで終わらせることなく施設に持ち帰り活かすことで、サービスの質の向上と職場環境の改善をさらに加速させてほしいです。



令和4年度のテーマ

「選ばない、断らない、諦めない」「専門性」と「連携」で、私たちが地域の福祉をリードする」

私たちが地域の人々と関わり、つながり、見守り、手助けすることで地域での暮らしを支えたい、そのために専門性を磨いてサービスの質を高めるとともに、選ばない、断らない、諦めない介護を実践していきたいと考えます。発表のためではなく実践のためのテーマとして掲げ、全施設・全職員が頑張ってください。

発表の部

最優秀賞

- ・介護老人福祉施設 ふるさと那賀

第2位

- ・養護老人ホーム 健祥会頼朝

第3位

- ・吉野川リハビリセンター

ポスターの部

最優秀賞

- ・特別養護老人ホーム 健祥会ライデン

第2位

- ・老人保健施設 健祥会バーデン& ケアハウス 健祥会リブレ
- ・特別養護老人ホーム 健祥会たんぼ
- ・グループホーム 笑顔毎日



ポスターの部 最優秀賞 特別養護老人ホーム 健祥会ライデン

数々の助成に感謝! 利用者様のために 大切に活用します!

地域福祉向上のための様々な補助事業において採択いただき、設備の充実を図ることができました。よりよいサービスづくりにしっかり活かしてまいります。ありがとうございました。

利用者様にも介助者にも安心のリフト車

チロルデイサービスセンター

ハイエース(リフト式)

補助額:2,325,000円

●公益財団法人JKA

2022年度補助事業【オートレース公益資金】

公営の競輪とオートレースを統括し、売上金の一部で社会的課題の解決に取り組む活動を支援する公益財団法人JKAの「幸せに暮らせる社会を創るための活動及び車両・機器等の整備」という部門で福祉車両の整備として採択いただきました。

最新式で利用者様にも 介助者にもやさしい特殊浴槽

特別養護老人ホーム 健祥会家康

臥床式特殊浴槽整備

助成額:5,150,000円

●公益財団法人 日本財団 2022年度助成金事業

【介護特殊浴槽の整備<Covid19>】

日本財団は、オートレースの売上を主な財源に活動する民間の助成財団。「みんながみんなを支える社会」の実現をめざし、行政による施策や公的サービスの行き届かない社会の諸課題に対する助成事業に取り組んでいます。

安全な送迎に欠かせない スロープ式車両

デイセンター 一休さん

軽自動車(スロープ式)

助成額1,230,000円

●公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団

【令和4年助成事業】

中央競馬馬主社会福祉財団は中央競馬の馬主たちが、自分たちの手で、かつ目に見える形で社会福祉に貢献したいとして設立した財団。自らの競馬賞金の一部を拠出し、全国の民間社会福祉施設などへ助成を行なっています。

ピカピカの机と椅子に大喜び!

育英認定こども園


園児用机・椅子

助成額:380,000円

●赤い羽根共同募金

【新型コロナウイルス感染症下の地域福祉活動応援助成事業】

赤い羽根共同募金は、市民自らの活動を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」です。コロナ禍以降は、感染拡大に起因する困りごとを抱える人々を支援する社会福祉法人などの活動に対して助成が行われています。

ありがとうございます! 



11/17(木)

管理栄養士を中心に様々な職種が協働して取り組む栄養ケア・マネジメント。施設ごとの取り組みを共有しグループ全体の質の向上を図るための事例発表会が健祥会トウモロホールで開催されました。

高年齢施設を擁する10の地域ごとに選ばれた代表施設が自施設での取り組み事例を発表。口から食べていただく工夫や、低栄養の利用者様の状態を改善できた事例、200日にも及ぶ利用者様の食事観察から得られた成果など、お一人おひとりに寄り

何より大事な「食と栄養」のために 栄養ケア・マネジメント事例発表会

添いつつ、気づきやヒントに溢れた事例が発表されました。審査は、医の立場から栄養学にも精通している専門学校健祥学園校長武田英二、健祥会本部経営戦略推進部長柴山義明をはじめ、施設から様々な職種を各1名、合計9名が務め、以下の結果となりました。

👑 1位

老人保健施設 健祥会ハート

「食事を美味しく食べるために」

👑 2位

特別養護老人ホーム 健祥会ハイジ

「食事観察を通して気づけたこと～入所者の189日間の想い～」

👑 3位

特別養護老人ホーム 緑風荘

「経口維持加算への取り組み」

特別養護老人ホーム エリザベート成城

「『食べたい』を叶える褥瘡ケア」





つながり合い支え合い、施設はいつも地域とともに

2022地域活動報告

あたたかな地域づくりをめざして、各施設が様々な地域活動を行っています。

「地域社会への貢献」は健祥会グループの三つの行動指針の一つです。

7/31(日)

健祥会グループ「感謝の日」 グループ全施設で それぞれの感謝をカタチに

健祥会グループでは創始者中村博彦の命日7月31日を「感謝の日」と定め、それぞれの施設が誕生の歴史を振り返り、利用者様やご家族、地域の皆様、そしてともに働く仲間への感謝の気持ちをカタチにしています。感謝の行事は全施設で7月29日から8月1日にかけて実施。感染防止に努めながらそれぞれの感謝の日を過ごしました。



地域の方をお招きしてこころカフェを開催。認知症について学んでいただきました(老人保健施設健祥会ハート)

への感謝の気持ちをいつも忘れずにいたいものです。そう教えてくれる「感謝の日」でした。

3/19(土)・23(水)・26(土)・4/22(金)

新型コロナウイルスワクチン 職域追加接種もスムーズに！

2021年夏の1回目2回目に続いて3回目の職域追加接種を国府町の多目的ホール・健祥会パートナーにおいて実施しました。予診の医師も注射を打つ看護師もグループ内の人財。誘導係は本部職員と駆けつけてくれた近隣施設の職員が務め、4日間で、専門学校、協力業者様ら合計1455人への接種を終えました。



9/12(月)~9/26(月)

嬉しいご長寿、 おめでとうございませう！ グループ全49か所で合同敬老会

9月12日から26日までの15日間に、徳島、香川、高知、大阪、京都、東京、全49か所で開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として今年も地域の高齢者様やご来賓のご招待を見送り、ご家族にもお控えいただき、各施設・各フロアにおいて安全第一で実施しました。賑やかな催しのない分、職員が精一杯の心を込めた楽しい企画や心づくしのお祝い膳で楽しんでいただきました。

健祥会グループ利用者様総数は5704人。うち100歳以上の方が126人(徳島県内97人/県外29人)。徳島県における100歳以上の方は666人(9月15日現在)であり、県内の100歳以上の方の7人におひとりが健祥会グループのサービスをご利用くださっています。感謝と責任を痛感する合同敬老会でした。



高齢化の現状

〈厚生労働省/2022年9月15日時点〉

- 65歳以上高齢者：3,627万人
- 高齢化率：29.1%
(いずれも過去最多)
- 75歳以上人口：初の15%超え



8/26(金)

大好きな地域をもっともっときれいに！ 「四国道路ふれあい協議会長表彰」受賞

徳島県OCロードアドプト事業にグループ本部をはじめ、現在13施設が参画。町を美しくしながら、行き交う地域の人々と親しく声を掛け合える清掃活動を、地域と施設を結ぶ地域貢献の一環として大切にしています。
徳島市国府町では2014年



松野秀生県土整備部長より感謝状
(徳島県庁にて)

11/8(火)

施設の献血活動に感謝状 特別養護老人ホーム水明荘・グループホーム濃姫

健祥会グループの地域貢献のひとつとして、多くの施設が献血活動に取り組んでおり、折々に各所から顕彰していただいています。
本年も、特別養護老人ホーム水明荘が令和4年度献血功勞



表彰を受け、厚生労働大臣からの感謝状が徳島グランヴィリオホテルにて飯泉嘉門徳島県知事より伝達されました。同時にグループホーム濃姫が徳島県知事感謝状をいただきました。

11/11(金)

食体験や介護すごろく大会、 「介護の日」の催し多彩に！

「国民誰もが介護について理解・協力する日」として定められた「介護の日」。徳島市の「健祥会ケアプランセンタータクト」と今年5周年を迎えた「介護・医療・保育相談センター by KENSHOKAI」では、無料介護相談やリハビリ機器体験などの「介護・医療・福祉フェア」



ショッピングプラザタクトでのフェア
(徳島市南島田町)

を開催。専門学校健祥会学園介護福祉学科の学生たちがつくった創作介護すごろくも披露され、お買い物ついでに多くの方が楽しいひとときを過ごしてくださいました。健祥会グループ各施設でも、介護の日

にちなんだ様々な催しが行われました。

Big news!!

ココロとカラダの元気のために withコロナでスポーツ大会再開!!

活動の自粛が求められるようになって3年、コロナ前と比べて、子どもと高齢者の体力・運動能力が低下していることがスポーツ庁の調査で明らかになっています。またコミュニケーションの機会の減少が孤独感を高めたり、認知能力の衰えを引き起こします。いつまでも自粛一辺倒でなく、賢くwithコロナを実践するために、ゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会を3年ぶりに開催しました。

- 第18回 健祥会杯グラウンド・ゴルフ大会
4月23日(土) 徳島市民吉野川南岸運動広場
- 第41回 健祥会カップ争奪 徳島オープンゲートボール選手権大会
5月7日(土) 阿波市土成町・緑の丘スポーツ公園
- 第18回 健祥会ふれあい大会(グラウンド・ゴルフ)
6月12日(日) 小松島市 坂野運動広場
- 健祥会カップ争奪東四国国体記念
第30回 四国オープンゲートボール選手権大会
10月1日(土) 高松市ホテルと文化の里運動場
- 第17回 健祥会グループ杯
南太平洋グラウンド・ゴルフ大会
11月11日(金) 阿南市橋湾小勝緑地



健祥会グループ3チーム 表彰台独占! & 通算11回目の優勝!



「第21回 全国社会人ゲートボール大会」
8月6日(土)・7日(日)
埼玉県熊谷市の熊谷スポーツ文化公園
「彩の国くまがやドーム」

全国から選ばれた職場単位の社会人チームが競い合う大会に、徳島から「健祥会キング」「健祥会エンペラー」「健祥会リパティ」の3チームが出場。リーグ戦、決勝トーナメント戦を勝ち進み、なんと、表彰台独占という大旋風を巻き起こしました。「健祥会キング」vs「健祥会エンペラー」の決勝戦では、最後まで見応えのある戦いを繰り広げ、「健祥会キング」が王者の風格で勝利を手にしました。コロナの憂鬱を吹き飛ばすかのような嬉しい結果でした。

Womanの枠を超えて頑張ってます!

7/12(火)

ヤングケアラー問題へ、KIRARIアクション ～なんでも相談電話「ほっとコール」周知活動～



本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている若年層のヤングケアラーが大きな社会問題となる中、KIRARI WOMANネットワークは2021年、「Team BRIDGE by KIRARI」を立ち上げ、ヤングケアラーを支援するための活動をスタートさせました。専用相談窓口として、徳島県介護実習・普及センター（徳島市国府町健祥会プレゼンテーション内）のなんでも相談電話「ほっとコール」を紹介し、さらに必要に応じて最適な支援機関への橋渡しをしています。

支援の始まりは、まず本人に自分がヤングケアラーであることを自覚してもらい、「一人で悩み、一人で頑張らなくていいんだよ」と伝えること。そのためにチラシやポスターを作成し、「ほっとコール」の周知活動を開始しました。健康グループ常務理事中村晃子



■なんでも相談電話「ほっとコール」
<https://www.kenshokai.group/jishu-fukyu-center/young-carer/>



らが7月12日、グループ4施設がある三好市を訪問。高井美穂三好市長が協力を快諾くださり、市内の幼・小・中学校へチラシを配布していただけることになりました。今後双方で協力し、この課題に取り組んでいきます。池田高校へもチラシをお届けしました。

ヤングケアラーの存在は、小学生の6・5%（2022年1月厚生労働省調べ）、中学2年生の5・7%、全日制高校2年生の4・1%（2021年2月厚生労働省・文部科学省調べ）にものぼると言われています。皆さんの身近なところにも大変な思いをしているヤングケアラーがいるかもしれません。もし気がかりやお気づきのことがあれば、ぜひ支援への橋渡しにご協力ください。

8/12(金)

やっぱり生はいいね! 「出張! 健祥会グループ連 阿波踊り2022 by KIRARI」



8月12日から4日間、徳島市で阿波おどりが開催されました。コロナ禍により2020年は中止、2021年に屋外無観客となって以来、3年ぶりに踊り機数が設けられ、徳島らしい夏の風情が街に戻ってきました。

健祥会グループでは、街への踊り込み参加は控えることとし、KIRARI WOMANネットワークが「出張! 健祥会グループ連阿波踊り2022 by KIRARI」を企画。今年はぜひ利用者様に生の踊りを見ていただき、少しでも晴れやかな気持ちになっただきたいとの思いで、阿波おどりの初日、8月

12日に、地域ごとに有志で結成したミニグループ連が施設へ出張して踊りを披露しました。利用者様に3年ぶりの生の踊りを楽しんでいただき、グループの4認定ことも園でも健祥会ちると連が踊りました。

「やっぱり生はいいね」と見る阿呆も踊る阿呆もにっこり顔。浮かれていっしょに踊り出す利用者様のとびきりの笑顔と健祥会ちると連の勇姿をご家族や地域社会に発信したく、動画をWEB上にアップし、たくさんの方に見ていただきました。

ANNETWORK

健祥会グループを縦横につなぐ職員のネットワーク「KIRARI WOMAN ネットワーク」が、活動7年目を迎えました。今やWOMANの枠を超え、社会の課題にアンテナを張り、SDGsも視野に、新しい取り組みがスタートしています。

11/12(土)

「仕事と子育て両立パパ」へ 「夫婦のパートナーシップを考えよう！」セミナー×イベント開催

セミナー終了後には、こども園の保育教諭たちのリードによる親子遊びを楽しみ、最後は「KIRARIわらしべ長者」。グループ内で集めた子育て用品を自由に持ち帰ってもらおうという企画です。子ども服、ベビーカー、チャイルドチェア、離乳食器など、へもつらいアイテムもまだまだ使える。もったいないものを必要な人の手に渡すことで、ささやかだけれど大切なSDGsの実践となり、参加者たちにもとても喜んでもらうことができました。

徳島で父親支援を広げる活動に取り組み佐野崇之さんを講師にお招きし、健祥会グループで働く子育て中のパパと子どもたち（希望者14組40名）を対象に、「仕事と子育て両立パパ」セミナー×イベントを開催しました。佐野崇之さんからは、「夫婦のパートナーシップを考えよう」と題して、夫婦のパートナーシップのあり方、パパが子育てすることのメリット、男性の育児休業、チーム育児などについて、さまざまなお話しをいただきました。活発だったグループディスカッションでは、問題意識を他の参加者と共有したり、自らの育児やパートナーとの関係性を振り返る得難い機会となったようです。

「KIRARIわらしべ長者」も大好評



佐野さんは、2018年「とくしま子育て大賞イクメン・カジダン大賞」受賞

12/19(月)

KIRARIフードライブ 余ったところから必要ところへ

社会問題にコミットする新しい活動としてフードドライブ（家庭で余った食品を職場などに集め、フードバンクへ届ける活動）に取り組み、グループ職員に呼びかけて、県内外から本部に持ち寄ってもらいました。

11月22日から12月10日の間に集まったのは、お米280kgとダンボール22箱分の食品。2台の車に満載して、12月19日にフードバンクとくしまへ。健祥会グループ常務理事中村晃子から清田麻利子理事長へ目録とともにお渡し、感謝状をいただきました。様々な事情により生活に困難を抱える方が、少しでも安心して新年を迎えられますよう、職員みんなの気持ちを込めて！



2023 2/21(火)

思わずクスリ 😊

「KIRARI WOMAN ネットワーク」川柳コンテスト

健祥会グループの利用者様、職員、学生を対象に、川柳コンテストを実施しました。初めての試みに724点もの楽しい句が寄せられ、1次審査で【利用者様・学生部門】と【職員部門】各10句を入賞とし、その中から施設投票により、最優秀賞、優秀賞、優良賞、各1句が選ばれました。

入賞者全員に記念のスタンドが、【利用者様・学生部門】の最優秀賞、優秀賞、優良賞には、それぞれの句を刺繍したオリジナルデザインのケープストール、【職員部門】の最優秀賞には阿波牛、優秀賞には金時豚、優良賞には米30kgが贈られました。頭を捻り、会話も弾み、笑顔も生まれるいいことだらけの川柳づくり、施設や家庭でもトライしてみてくださいね。

受賞作

【利用者様・学生部門】

オミクロン 投資せぬのに 増える株
おどろえる 視力聴力乙女力
おしゃべりして デイの目まぢがえ 涙する

【職員部門】

過去よりも 未来を話す 10.5歳
見えずとも マスクの奥に あの笑顔
僕イクメン 妻が一言「当たり前」



一流を育てる



学びの質も 学費の安さも
全国トップクラス!

授業料の負担少なく

- 中国・四国で最安 **理学療法学科** **作業療法学科**
- 全国トップクラスの安さ **保育学科**
- 社会人なら学費無料の制度あり **介護福祉学科**

※学園調べ

質の高い教育

- 創立25年の伝統と実績があります。
- 大学並みの整った設備が自慢です。
- 経験豊富な手厚い教師陣、ドクター2名も常勤、万全の国家試験対策。
- 文部科学省「高等教育修学支援新制度」対象校です。
- 4学科とも文部科学省「職業実践専門課程」の認定を受けています。
- 隣接する医療&介護施設が実践的な学びの場となります。

2024年度 入学生募集!

社会人OK! 年齢問わず!

学び直しであらたな道を開く先輩も大勢います!



社会福祉法人健祥会 専門学校
健祥会学園

お申し込み・お問い合わせ

TEL.088-642-9810(入試事務局)

〒779-3105 徳島市国府町東高輪369番地1



あなたを待ってる人がいる
あなたが輝く場所がある

職員
募集中



笑顔と「ありがとう」の行き交う職場で
私たちといっしょに働きませんか?

誰かのためになる喜びとやりがいに満ちた福祉の仕事にチャレンジしてみませんか?
資格がなくても大丈夫。研修制度でキャリアアップを応援します!
福利厚生も充実。仕事と子育ての両立を力強く支援しています。

介護しながら、子育てしながら、勤められます!

正規職員・パート 勤務地・勤務時間・給与 応談!

募集職種

ケアワーカー(介護職員)・相談員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師
ケアマネジャー(介護支援専門員)・管理栄養士・調理員・保育教諭・訪問介護員
ケアサポーター(介護助手) ほか

ご興味のある方は下記、または各施設までお気軽にお問合せください。

健祥会グループ本部

TEL.088-642-7522



健祥会グループ本部

〒779-3105 徳島市国府町東高輪字天満356番地1
TEL.088-642-8118 FAX.088-642-8668

